

一般質問



大災害時の住民・地域の
孤立対策は

藤根 正典 議員 新政みえ／東紀州選出



問

東紀州地域や伊勢志摩地域では、大規模地震および津波により多くの集落が孤立する可能性があります。災害時の住民・地域の孤立対策においては、地元市町との連携・協力の強化が不可欠ですが、今後どのように進めていくのかお聞かせください。

答

孤立が想定される地域の実態調査を市町と共に行い、その結果を基に地区ごとの台帳を整備し、事前防災の取り組みや発災時の支援等に活用します。また、中山間部と沿岸部の2市町をモデル地域として、ドローンを活用した物資輸送の実証調査を行います。これらに加え、令和7年度当初予算において孤立地域対策も対象とする新たな補助制度を設け、市町の計画的な取り組みへの財政支援を行うなど、孤立地域対策に総合的に取り組みます。

その他の質問事項

- 未来へ継承する世界遺産熊野古道の保全
- 新日本フィル29市町巡回事業



放課後児童クラブの
待機児童解消に向けて

石垣 智矢 議員 自由民主党／いなべ市・員弁郡選出



問

全国の放課後児童クラブにおける待機児童数は増加の一途を辿っており、その根幹には、放課後児童支援員の不足があります。今後、必要なクラブの整備や人材の確保を着実に進め、待機児童の解消につなげるために、県としてどのように取り組むのか、伺います。

答

県では、放課後児童クラブの実施主体である市町を通して、施設の運営や整備に対する支援を行っています。また、放課後児童支援員の人材確保に向け、多くの方に認定資格研修を受講いただけるよう、研修の実施方法を集合形式からe-ラーニング形式に変更するとともに、利用ニーズが高まる夏休み前に研修を実施するなど、充実を図っています。今後も待機児童の解消に向けて、施設整備と人材確保の両面から支援に取り組んでいきます。

その他の質問事項

- みえ子ども・子育て応援総合補助金について
- フェーズごとの空き家対策



より高度な救命救急医療の
提供体制構築

今井 智広 議員 公明党／津市選出



問

令和7年度当初予算で計上している三重大学医学部附属病院へのドクターカー導入によって、三重県の救急医療体制をどのように充実させていきますか。また、ドクターヘリはバージョンアップを図るべきであり、ヘリ運航の基地病院と協議していくべきと考えますがいかがですか。

答

ドクターカーは、ドクターヘリが運航できない悪天候時や、患者の容態急変時の転院搬送で迅速かつ安全な搬送が期待できます。また、ドクターヘリは大型化や積載機器の充実によりさまざまな医療ニーズに対応できる一方、導入や運航のコスト増大や離着陸場所の制約が生じる等の課題があります。ドクターカー、ドクターヘリの効果的な活用について、基地病院や関係機関と協議するとともに、医療審議会で検討を進めます。

その他の質問事項

- 指定管理者制度における今後の対応
- 入札制度の見直し



これからの地域機関の在り方
～地域防災総合事務所と地域活性化局～

東 豊 議員 そうもう草莽／東紀州選出



問

県が課題解決に向けて的確に対応していくためには、地域機関にもっと権限と予算を移したり、市町や地域の声を聴く体制づくりを進めるなど、地域の課題解決に主体的に取り組めるようにする必要があると考えます。組織体制の見直しを含め、今後の地域機関の在り方を知事にお聞きます。

答

69の市町村が存在した市町村合併前と比べると、市町と本庁の距離は近いものになっていますが、地域機関の役割は依然として重要です。地域機関が市町に寄り添い、顔の見える関係を構築し、地域ごとに異なる課題を把握するなど、本庁と一緒に、広域性・専門性を生かした支援を行っていく必要があるため、今後も、市町に積極的に出向き、市町との関係を築いていきたいと考えています。

その他の質問事項

- 南海トラフ地震と津波への備え
- 効果的なインバウンド誘客



高校生の自転車乗車用ヘルメット
着用率の向上

世古 明 議員 新政みえ／伊勢市・鳥羽市選出



問

高校生の自転車乗車時のヘルメット着用率が低い理由は、「ヘルメット購入の費用負担」、「髪型が乱れる」、「努力義務だから」など、さまざまなことが考えられますが、ヘルメットは頭部を守り、命を守ります。高校生の着用率向上に向けた県の取り組みをお聞かせください。

答

県立高校の生徒のヘルメット着用率は、令和6年の調査で7.3%と低い状況です。着用推進のため、生徒同士が意見交換する三重県高校生バイシクルサミットを開催するなど、生徒が主体となる啓発にも取り組んでいます。また、令和6年度は校則にヘルメット着用を努力義務として記載する学校が1校から10校に増え、各校での取り組みも一層進んでいます。引き続き啓発等を行い、着用率の向上に取り組めます。

その他の質問事項

- 答志島架橋について
- 社会で悩みを抱える人への寄り添いについて ほか



「妊産婦のほっとスポット」とは？

松浦 慶子 議員 自由民主党／多気郡選出



問

妊産婦を支援する「妊産婦のほっとスポット構築モデル事業」について、令和6年度の予約枠は12月末にはほぼ満室となり、受け付けが中止されています。施設の稼働率や利用者の満足度が高いこの事業の概要と、今後、事業の充実に向けてどのように取り組むのか伺います。

答

令和5年11月に開始したこの事業は、津市と四日市市の2箇所の母子生活支援施設において、妊産婦が休息できる場所の提供や、助産師等による育児の不安に対する相談支援、指導などを実施するもので、利用者から好評をいただいています。令和7年度は、より多くの希望者に本事業を利用いただけるよう、予約方法などの改善を図るとともに、県南部地域での実施に向けて、検討を進めます。

その他の質問事項

- 女性の視点から防災を考える
- 太陽光発電施設の設置における問題 ほか